

第1回和島地域委員会 次第

日時：令和4年5月16日（月）

午後4時から

場所：和島保健センター1階

「検診ホール」

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 良寛と貞心尼の魅力発信事業について

【資料1】

4 報告事項

(1) 長岡北部新斎場（仮称）の進捗状況について

【資料2】

(2) 令和4年度和島支所主要事業について

【資料3】

5 その他

6 閉 会

第1回 和島地域委員会出席者名簿

任期：令和3年4月1日から令和5年3月31日

整理 No.	選出区分等	氏 名	備 考
1	地域代表	清野 精研	欠席
2	地域代表	小林 博	
3	地域代表	高橋 勇一	
4	地域代表	竹内 嘉秀	
5	学識経験者	菊地 和昭	
6	学識経験者	小林 教子	
7	学識経験者	関川 たづ子	
8	学識経験者	中村 義久	
9	学識経験者	羽鳥 仁一	
10	学識経験者	加勢 律子	
11	学識経験者（公募）	佐々木 理江子	
(12)	地域振興戦略部長	渡邊 一浩	
(13)	地域振興戦略部地域振興担当課長	江田 佳史	
(14)	地域振興戦略部主査	久住 浩明	
(15)	市民協働課長	五十嵐 智行	
(16)	市民課長	吉川 由紀子	
(17)	市民課課長補佐	名塚 正和	
(18)	市民課生活係長	小倉 正巳	
(19)	和島支所長	金垣 孝二	
(20)	産業建設課長	反町 宏	
(21)	事務局長	池田 博志	(地域振興・市民生活課長)
(22)	事務局	早川 篤史	(地域振興課 地域振興・防災担当係長)
(23)	事務局	池田 泰弘	(地域振興・市民生活課 主査)
(24)	事務局	松本 悠暉	(地域振興・市民生活課 技師)

※地域委員の並びは選出区分、五十音順です。

良寛と貞心尼の魅力発信事業について

1、提案趣旨

- ・長岡市は令和4年度から良寛と貞心尼の魅力発信事業に着手（5年計画）。
- ・令和4年度には、若者や関係者などから意見を聞き、今後の進め方を検討・策定する。この機会に和島地域委員会からもご意見をいただき、令和5年度以降の事業実施の参考にしたいもの。
- ・すでに良寛については、地域の宝（地域振興）として、和島地域で共通認識されているが、観光の視点でも検討いただきたい。

2、良寛と貞心尼の魅力発信事業について ※詳細は別紙のとおり

- (1) 良寛と貞心尼の散策道整備
- (2) 散策道歌碑解説等作成業務
- (3) 良寛と貞心尼の魅力発信業務
- (4) 良寛の里美術館展示解説映像等作成業務
- (5) 良寛の里美術館等の魅力検討
- (6) 地域の宝磨き上げ事業ほか

3、作業スケジュール案

- ・ 5月16日 第1回地域委員会
提案、情報提供、意見交換
- ・ 9月 第2回地域委員会
特別展見学
課題・方策検討（ワークショップ）
- ・ 11月 第3回地域委員会
提言まとめ

良寛と貞心尼の魅力発信事業

■事業目的

令和4年度は、貞心尼の没後150周年に当たることに加え、10月には「全国良寛会総会」が開催されることから、同年を良寛と貞心尼の魅力強化・再評価のムーブメントづくりに取り組むスタートの年とし、市内の関連地域はもとより周辺市町とも連携しながら、長岡の観光コンテンツとして継続的に磨き上げていく（新しい視点で、魅力を明らかにし、伝えていく）。そして、良寛と貞心尼の出会いから200年目に当たる令和8年度を目途に、長岡の宝「良寛と貞心尼」の新しい価値の創造による事業展開を行う。

■事業期間

令和4年度から令和8年度までの5年間（予定）

■令和4年度 主な事業内容

（1）良寛と貞心尼の散策道整備

- ・道の駅良寛の里わしま 美術館ゾーン内にある訪れにくい場所の歌碑など4基を歴史民俗博物館脇の良寛像がある広場に移設。
- ・良寛像がある広場に舗装、敷砂利、スロープの工事を行い、美術館ゾーンからはちすば通りへ訪れやすいように散策道を整備。

（2）散策道歌碑解説等作成業務

- ・QRコードを活用した歌碑等の解説、ゆかりの場所の写真・映像、良寛と貞心尼の出会いの説明を作成。

（3）良寛と貞心尼の魅力発信業務

- ・貞心尼没後150周年特別展を良寛の里美術館で開催。
- ・広域連携パンフレット作成。
- ・柏崎市、出雲崎町と連携したリレー講演会などの開催。

（4）良寛の里美術館展示解説映像等作成業務

- ・QRコードを活用した展示解説、良寛てまり座 朗読ライブ映像を作成。

（5）良寛の里美術館等の魅力検討

- ・若者や関係者などにインタビューし、次年度以降の事業検討に反映。

(6) 地域の宝磨き上げ事業ほか

- ・地域の宝磨き上げ事業
- ・北辰中学校良寛さまを歩く、書道教室ほか地域の宝の活用の検討
- ・観光ボランティアの活用・育成
- ・良寛てまり座／良寛さま朗読ライブ（10月1日予定）

令和 4 年 5 月 16 日
長岡市市民協働推進部市民課

長岡市北部斎場の建設について

1 事業の趣旨

長岡市北部地域(寺泊、和島、与板、中之島、三島の各地域)と、出雲崎町が使用している与板無憂苑斎場(昭和 49 年築)、寺泊斎場(昭和 39 年築)の老朽化が進んでいます。また同地域では、今後も年間 500~600 件の火葬需要が見込まれます。そのため両斎場を統合し、新たに斎場を建設するものです。

2 建設予定地

和島地域荒巻区内(別添地図参照)

3 施設の規模

栃尾斎場(平成 29 年築)と同等規模を想定
敷地面積約 2 万 m² 建物面積約 1,000 m²
火葬炉 3 炉 年間約 600~650 体の火葬能力

4 建設の動き

令和 2 年度から事業に着手。令和 10 年度を目途に供用開始するべく、準備を進めます。

令和 3 年度は、用地買収の手続きを開始しました。

令和 4 年度は、用地買収を引き続き実施するほか、土木実施設計(斎場予定地、進入道路や調整池など)や火葬炉メーカーの選定などを実施します。

(長岡市北部) 和島地域荒巻区内



長岡市北部斎場について

長岡の北部地域には、新しい斎場が必要です

現施設が老朽化、最新設備に更新する必要があります

現在、長岡北部地域（下図参照）には、「与板無憂苑斎場」と「寺泊斎場」の2つの斎場があります。この2つの斎場は建築されてから40年を超え、施設の老朽化が進み火葬炉も小規模な修繕を繰り返しながら運用しています。また、与板無憂苑斎場は新潟県の土砂災害特別警戒区域に存在します。

一方で、現在、長岡北部地域では、年間500件以上の火葬が行われており、今後も同じくらいの火葬需要が見込まれます。

このため、地域の火葬の需要を満たすため、2つの斎場を統合して新たな斎場を整備するものです。



与板無憂苑斎場



寺泊斎場

統合斎場の建設予定地選定の考え方

長岡北部地域の中心に位置する場所で、土地の条件や生活環境への影響等を考慮して選定しました

長岡北部地域全域からの利用のしやすさを考えて、地域の中心部を対象としていくつかのまとまった土地を候補地としました。

その上で、以下の選定条件を設定し、比較評価して適地を選びました。

選定条件評価項目

検討項目	視点
①土地基盤	・地層（地盤）からみた敷地の安全性
②土地利用条件	・十分な広さがあるか ・法律の規制の有無
③災害リスク	・自然災害（土砂災害・洪水）発生リスク
④インフラ整備	・幹線道路からのアクセス、上下水道等の状況
⑤生活環境	・森林や農地及び既存集落の状況
⑥使用圏域	・斎場利用地域のほぼ中心にある



現代の斎場は…

昔の火葬場と全く違います

斎場は、故人と遺族が最後のお別れをする場所で、誰もが必ず利用する公共施設です。

現在の斎場は周囲の環境に配慮したきれいで清潔なつくりとなっています。

火葬炉は燃焼ガスを高温で2回燃焼させるため、施設外に出る排気は環境に配慮したものととなります。また、高性能の集塵機を使って環境に影響のある物質の放出を防ぎます。

このため、昔のような煙突はなく、外部に臭いや煙は一切もれません。建物の景観にも配慮しています。



排気口（壁面にあり目立たない）



待合ロビーと告別室（イメージ）

新斎場の基本コンセプト

- 1) 周辺住民の生活環境に配慮
- 2) 人生の終焉の場にふさわしい設え
- 3) 人と自然環境にやさしい
- 4) 管理運営しやすい
- 5) 災害に強く、安全性や快適性に配慮



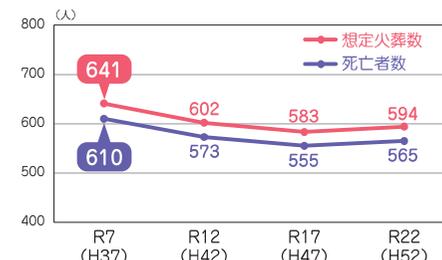
斎場外観（イメージ）

計画される斎場施設（火葬炉の数）は

今後の地域の火葬需要を推計して3基とします

北部地域を含め長岡市の人口は、今後も減少が想定されます。少子化の影響から地域内の高齢化は進みますが、地域内で亡くなる方の人数も今後は徐々に減少する見込みです。

令和7年以降は、年間555～610人が亡くなると想定されます。また、他地域からの受け入れを加えて、最多の年で641件の火葬を想定します。



長岡北部地域の死亡者数及び火葬件数の推計

■ 1日当たりの火葬数

火葬数最多の年（641件を想定） **1日平均：約2件**（641件÷年間稼働日数302日） **1日最大：6件**（火葬炉3基を2回稼働）

令和4年度和島支所主要事業一覧表

資料3

No.	事業名	事業種類 (ハード・ソフト)	新規 継続	事業期間 (-)	予算額(千円)	概要	支所 担当課
1	コミュニティセンター整備事業	ハード	新規	(R4-)		和島コミュニティセンター(仮称)整備工事設計委託	市民協働課 地域振興・ 市民生活課
2	住民サービス緊急対応事業	ハード	継続		(全体)20,000	各地域の住民要望や地域課題に迅速かつ弾力的に対応	地域振興・ 市民生活課
3	地域の宝磨き上げ事業	ソフト	継続	(H27-)	2,979	【補助団体①】和島の宝地域づくりネットワーク会議 「良寛・貞心尼とはちすば通り」・「越後鉄道と住雲園」・「村岡城址周辺」の3つの「宝」の活動団体の連携強化、企画提言、地域の共通事業を実施 【補助団体②】和島島崎地区まちづくり協議会 はちすば通りの景観保全活動や良寛さまPR活動など島崎の魅力事業を実施 【補助団体③】花街道わしま実行員会 学校や集落等と協力し、花苗配布等により地域の花壇整備や景観向上事業を実施 【補助団体④】椿の森倶楽部 ミニSLや休耕田を使った体験事業を通して交流人口を増やし、歴史の発信や賑わい復活の事業を実施	地域振興・ 市民生活課
4	新斎場整備事業	ハード	継続	(R2-)	165,481	用地取得、測量設計委託、土木実施設計など	市民課 地域振興・ 市民生活課
5	観光施設整備事業	ハード	継続	(R4)		道の駅良寛の里わしま ・良寛の里美術館防火シャッター危害防止装置取付工事 和島オートキャンプ場 ・展望台転落防止柵改修工事	産業建設課
6	地域資源を活用した新たな価値創造事業	ソフト ハード	新規	(R3-R8)	6,591	貞心尼没後150年特別企画展、散策道整備工事 良寛の里美術館改修整備(展示解説映像等作成)	産業建設課
7	生活基盤整備事業	ハード	継続	(R4)	44,550	道路拡幅改良、河川整備等 5箇所 ・道路新設改良、道路改良等(両高 L=100m、小島谷 L=25m、 島崎(明ヶ谷)L=100m、島崎 L=60m) ・準用河川整備(下富岡川 L=160m)	産業建設課
8	公共交通等確保維持事業	ソフト	継続	(R2-)	6,080	デマンド型乗合タクシー運行	産業建設課
9	災害応急復旧対策事業(「地域の救急箱」)	ハード	継続		(全体)12,000	融雪災害などの小規模災害に支所が機動的に対応	地域振興・ 市民生活課
10	八幡林官衙遺跡等活用発信事業	ソフト	継続	(R3-)	1,261	八幡林官衙遺跡出土品等再整理委託など	科学博物館 地域振興・ 市民生活課